

令和4年度
学校関係者評価報告書

令和5年5月
獨協医科大学附属看護専門学校三郷校

令和4年度 獨協医科大学附属看護専門学校三郷校 学校関係者評価 報告書

1. 領域別評価

領域	学校関係者からの意見・要望・評価等
I 学校経営	<p>教育理念・教育目標達成に向けて教職員のベクトルを一定方向に定める必要性を教職員自身が意識をすることが必要だが、委員会編成の見直しにより成果が見える。</p> <p>価値観が多様化した社会において、何事も正しく判断・行動できる看護師育成に取り組んでもらいたい。</p>
II 教育課程・教育活動	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で100%の教育活動は展開できなかったが、実習病院等の協力により、実習目標が達成できたことは大いに評価できる。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で新たに獲得できた教育方法等を活用し、新たな教育活動の展開を期待する。</p>
III 学習成果	<p>学習成果の平均点は年々下降しているようだが、5年連続国家試験合格率100%という実績は大いに評価できる。</p> <p>若者の離職率が話題になるが、単位習得には関係ない課外授業への参加等、主体的に学ぶ生徒、生涯学び続ける姿勢を身に着けた看護師の育成にも大いに取り組んで欲しい</p>
IV 入学・卒業対策、就職・進路支援	<p>生徒募集も課題の一つとなっているが、「8か年計画で教育」、「国家試験合格率100%」、「十分な実習施設」といった学校の強みのアピールが必要。特にホームページの見直しは急務と思われる。</p> <p>卒業対策、就職・進路支援策として、同窓会という組織を活用できないか。卒業生のネットワークは活用する価値がある。</p>
V 学生生活の支援	<p>新型コロナウイルスの影響もあり、心に問題を抱えた学生は多いと思われる。カウンセリング室が有効活用されていない点が残念。</p> <p>学生の自主活動が学校生活の満足度を大きく左右する。学生の満足度は生徒募集にも影響するので、学生が企画した催し物への支援を充実させ、学生生活を大いに盛り上げて欲しい。</p>
VI 財政・施設設備の管理	<p>学内見学はしていないが、施設設備については十分だと思われる。財政面については、外部の人間には分からないが、今後は新型コロナウイルスの影響で新たに獲得した教育技術の充実等、学生の意見を含めて学内で議論し、優先順位をつけて整備をすることが大事だと思われる。</p>
VII 教職員の能力向上	<p>国家試験合格率100%から考えると教職員の資質は十分だと思われる。授業力を高めるには、授業公開と研究授業が考えられる。授業公開は地域住民への公開も検討して欲しい。技術は日進月歩で進歩しているため、研修の積み重ねが求められる。報告会を制度化して情報共有に努めて欲しい。</p>
VIII 広報・地域活動	<p>三郷市という行政や地域を大いに利用したらどうか。学校や教職員が地域の行事に参加することで地域のニーズを把握することができる。また、学校を地域に公開することも必要。三郷市は県立の学校なのに、三郷市立の学校のように扱ってくれる。</p>

2. 総括

<p>教育目標達成に向けて大変努力していることが推測できます。また、国家試験合格率100%を達成できなかったことに責任を感じていることが伝わってきました。</p> <p>今回、学校関係者評価委員となり、初めて学内に入り、学校側からのお話を聞くことができました。入口から出口、そして卒業後の支援という流れというか、学校の考え方に魅力を感じました。</p> <p>学校は閉鎖的と言われます。是非、学校を地域に公開してください。将来、看護師になりたいという子どもたちを増やすことも大切だと思います。三郷市在住の学生を増やしてください。</p>
--